

平成21年度  
総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果  
概要

平成22年2月



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 目 次

## I 総合型地域スポーツクラブ育成状況調査

1 調査の概要	1
2 調査結果の概要	2

## II 総合型地域スポーツクラブ活動状況調査

1 調査の概要	4
2 調査結果の概要	
(1) クラブの概要	5
(2) クラブの設立	6
(3) クラブ会員	8
(4) クラブ会費	9
(5) クラブの事故対策	10
(6) クラブの活動内容	11
(7) クラブの広報活動	13
(8) クラブ所属のスポーツ指導者	14
(9) クラブの事務局体制	16
(10) クラブの活動費	21
(11) クラブの活動拠点施設	22
(12) クラブハウス	23
(13) クラブ設立の効果	24
(14) 広域スポーツセンターとの連携	25
(15) クラブの現在の課題	26

\* 参考 総合型地域スポーツクラブ育成状況調査結果一覧（推移含む）

# I 総合型地域スポーツクラブ育成状況調査

## 1 調査の概要

### (1) 目的

全国において、創設された総合型地域スポーツクラブ及び創設準備中のクラブの状況を把握し、今後の総合型地域スポーツクラブの育成推進のための基礎資料とする。

### (2) 対象

総合型地域スポーツクラブを育成している市区町村  
総合型地域スポーツクラブ及び創設準備中のクラブ

### (3) 実施期間

平成21年5月29日～7月16日

### (4) 実施方法

各都道府県教育委員会（または担当部局）生涯スポーツ主管課に対して、域内の総合型地域スポーツクラブを育成している市区町村及び創設された総合型地域スポーツクラブ並びに創設準備中のクラブの状況（平成21年7月1日現在）を調査

### (5) 調査票回収状況

配布数 47      回収数 47      回収率 100.0%

## 2 調査結果の概要

平成21年7月現在、全国では1,167の市区町村（1,798市区町村中）においてクラブが育成（創設及び創設準備）されている。その内訳をみると、846の市区町村においてクラブが既に創設されており、414市区町村においてはクラブ創設準備中となっている。

また、全国で育成されているクラブ数をみると、2,905のクラブが育成されている。そのうち、2,425のクラブが既に創設されており、480のクラブが創設準備中となっている。

このうち、298クラブが法人格を有し、100クラブが指定管理者として公共施設の管理を行っている。

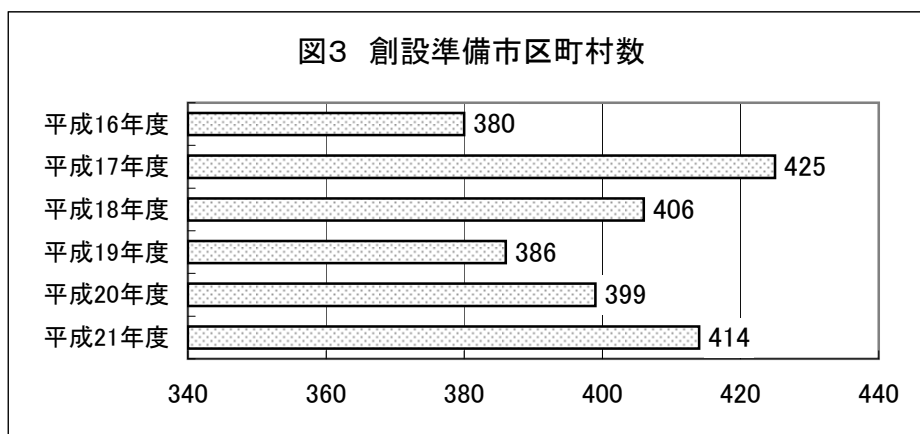
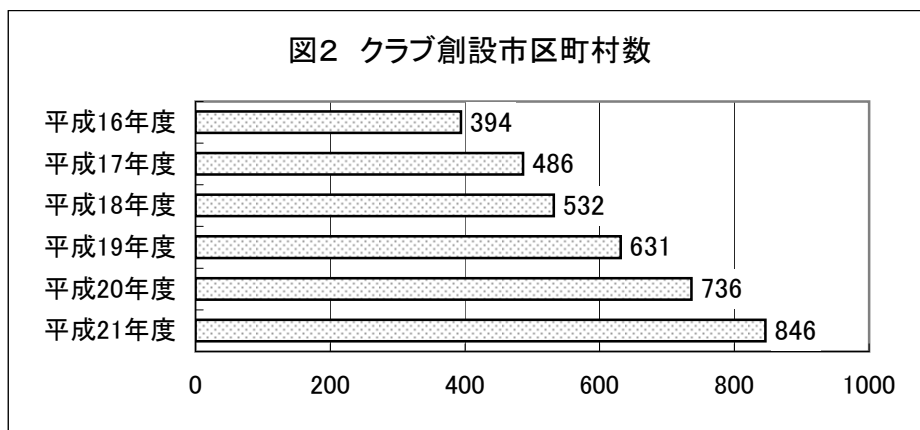
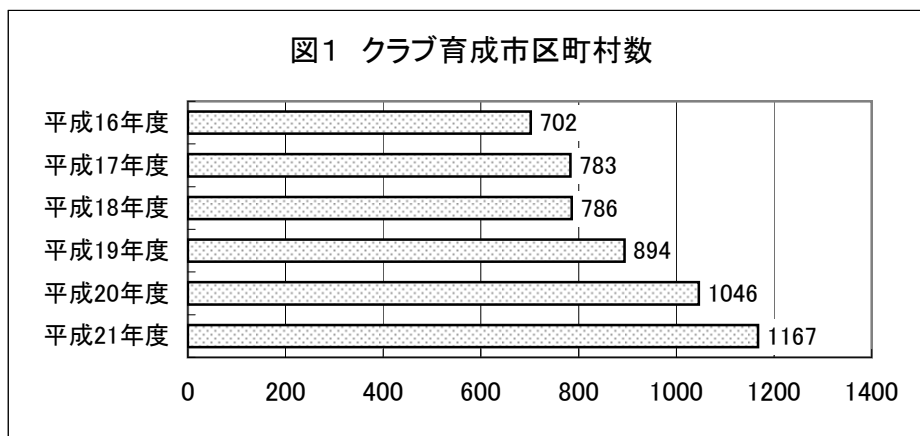


図4 育成クラブ数

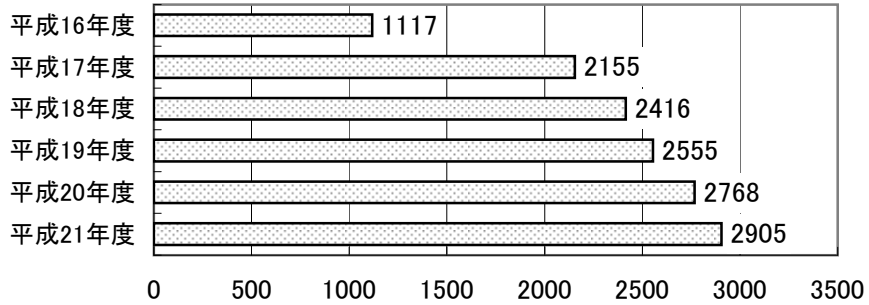


図5 創設クラブ数

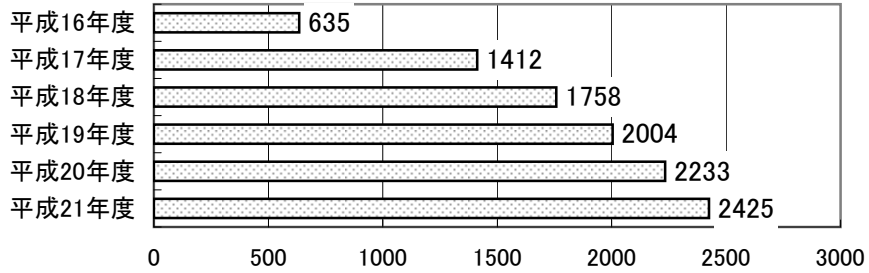
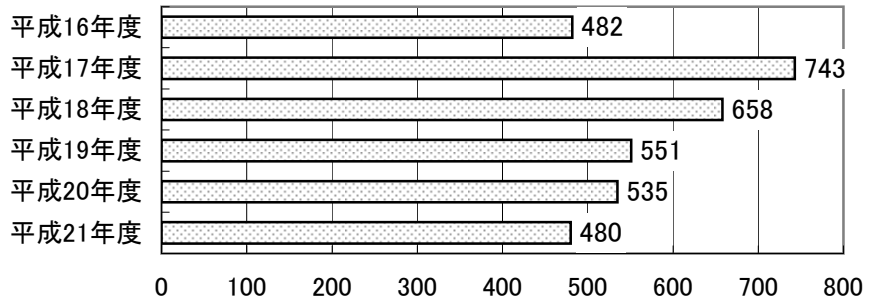


図6 創設準備クラブ数



※参考（平成21年度の数値）

全国の 市区町村数	①創設済み クラブ数	①のある 市区町村数	②創設準備 中クラブ数	②のある 市区町村数	③育成クラブ 総数 (①+②)	③のある 市区町村数 (重複除く)	法人格取得 クラブ数	指定管理者 となっている クラブ数
1,798	2,425	846	480	414	2,905	1,167	298	100

## Ⅱ 総合型地域スポーツクラブ活動状況調査

### 1 調査の概要

#### (1) 目的

全国において、創設された総合型地域スポーツクラブの設立経緯、活動内容、課題等を把握し、今後の総合型地域スポーツクラブの育成推進のための基礎資料とする。

#### (2) 対象

総合型地域スポーツクラブ

#### (3) 実施期間

平成21年5月29日～8月28日

#### (4) 実施方法

各都道府県教育委員会（または担当部局）生涯スポーツ主管課を通じて、域内の総合型地域スポーツクラブに対して活動状況（平成21年7月1日現在）を調査

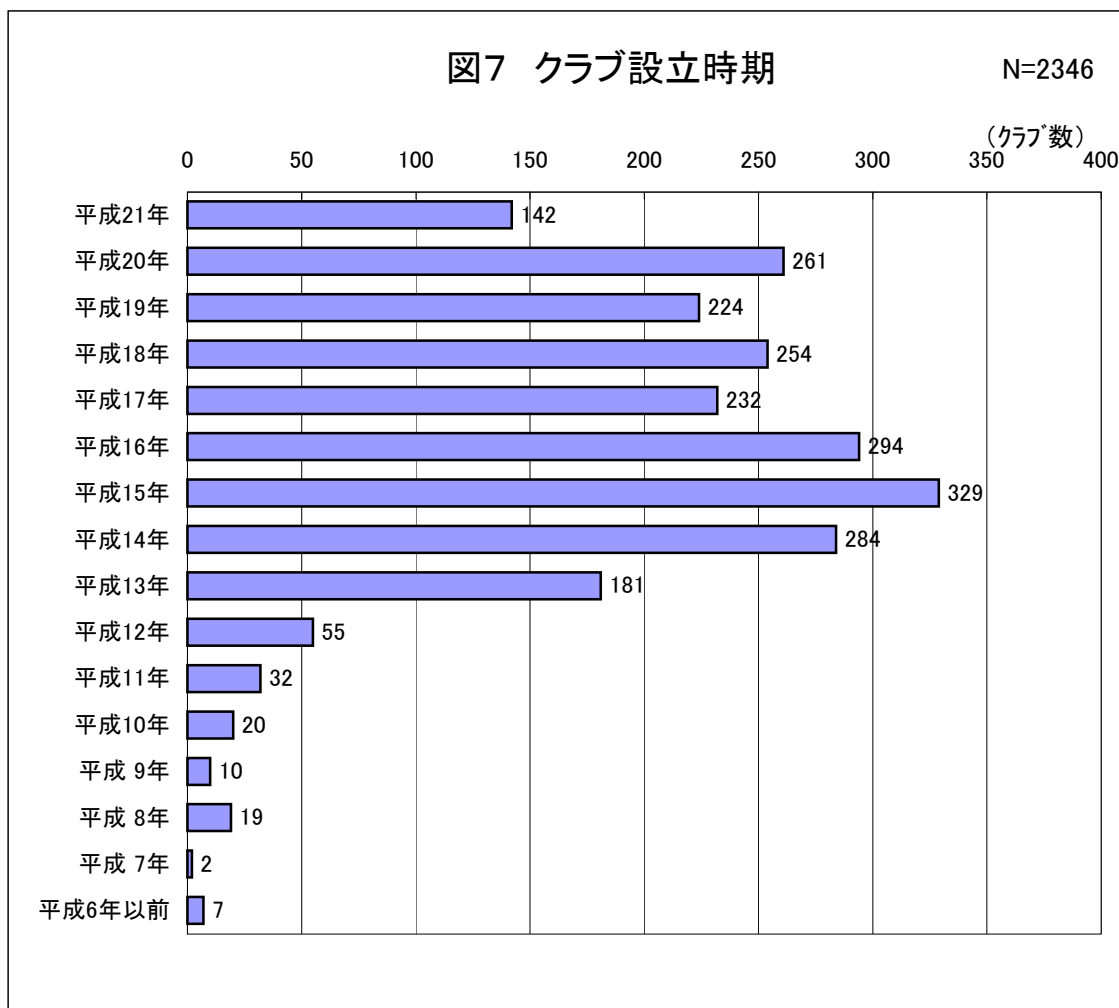
#### (5) 調査票回収状況

配布数 2,425      回収数 2,392      回収率 98.6%

## 2 調査結果の概要

### (1) クラブの概要

「平成14年」以降昨年までは、「平成15年」の329クラブを筆頭に、毎年200を超えてクラブが設立されてきたが、「平成21年」は142クラブの設立となった。



## (2) クラブの設立

クラブを設立したきっかけは、「自治体からのすすめ」が58.6%と最も多く、続いて「母体となる活動から自主的（自然）に」が24.6%となっている。

また、クラブを設立したときの形態は、「新たな会員により設立」が37.5%、続いて「複数のクラブを統合して設立」が30.4%となっている。

クラブの設立に要した期間は、「6ヶ月以上1年未満」が33.2%と最も多く、続いて「1年6ヶ月以上～2年未満」が17.7%、「6ヶ月未満」が13.0%となっている。

クラブを設立するに当たっての課題としては、「既存団体との調整」が58.3%、「会員の確保」が55.7%、「指導者の確保」が49.1%、「会費の設定」が48.7%などとなっている。

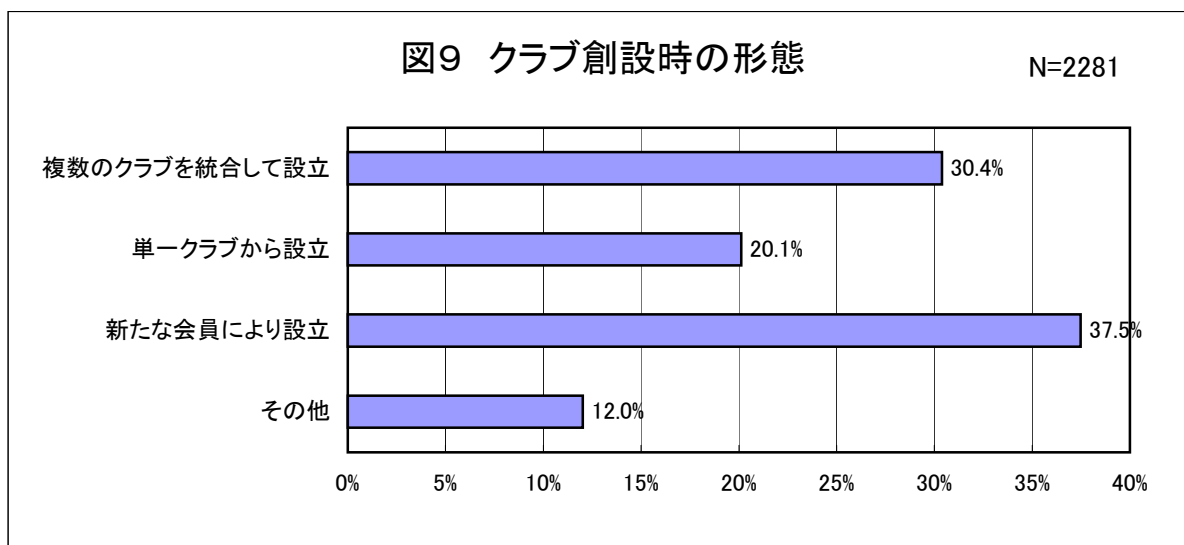
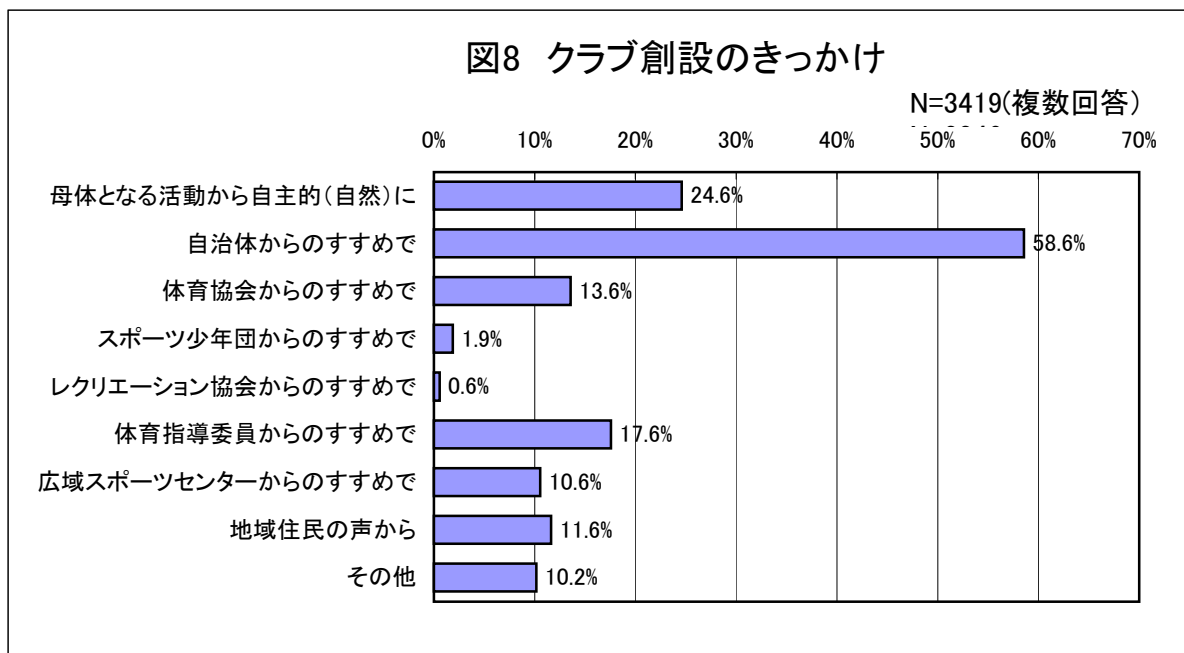




図10 クラブ創設に要した期間

N=2277

6ヶ月未満
  6ヶ月以上～1年未満
  1年以上～1年6ヶ月未満

1年6ヶ月以上～2年未満
  2年以上～2年6ヶ月未満
  2年6ヶ月以上～3年未満
  3年以上

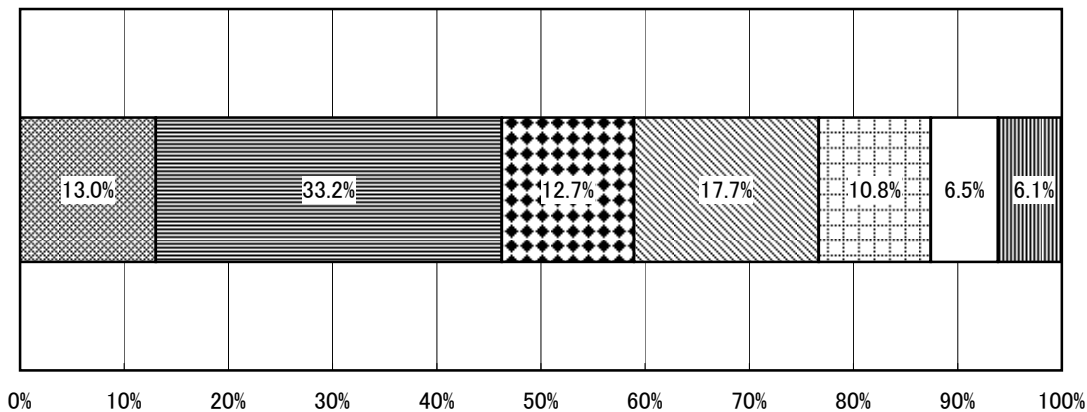
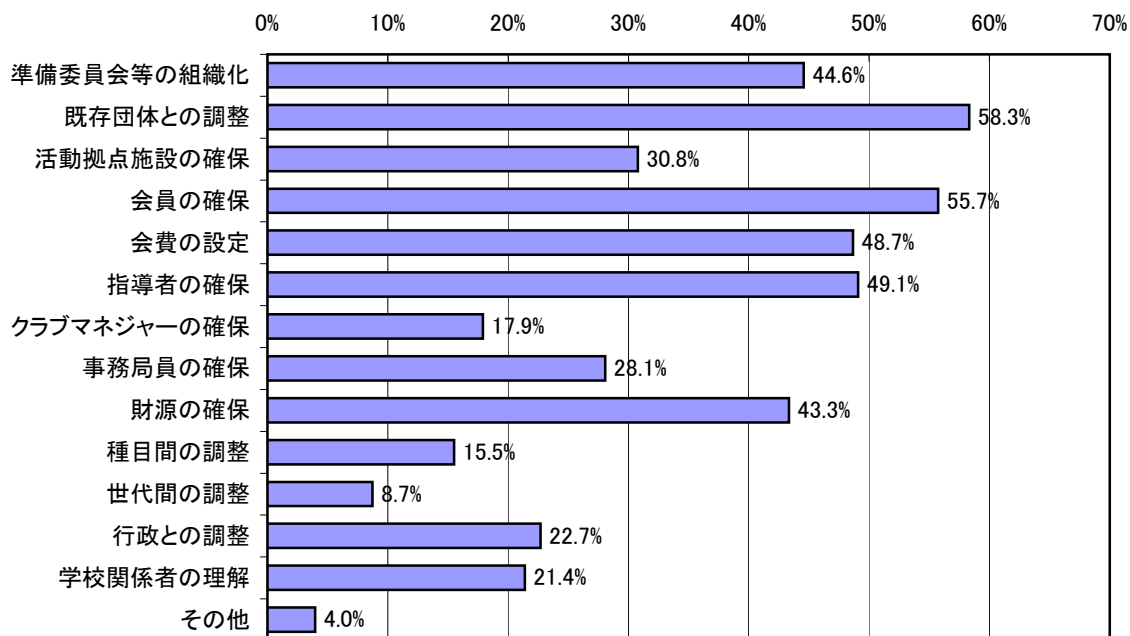


図11 クラブ創設時の課題

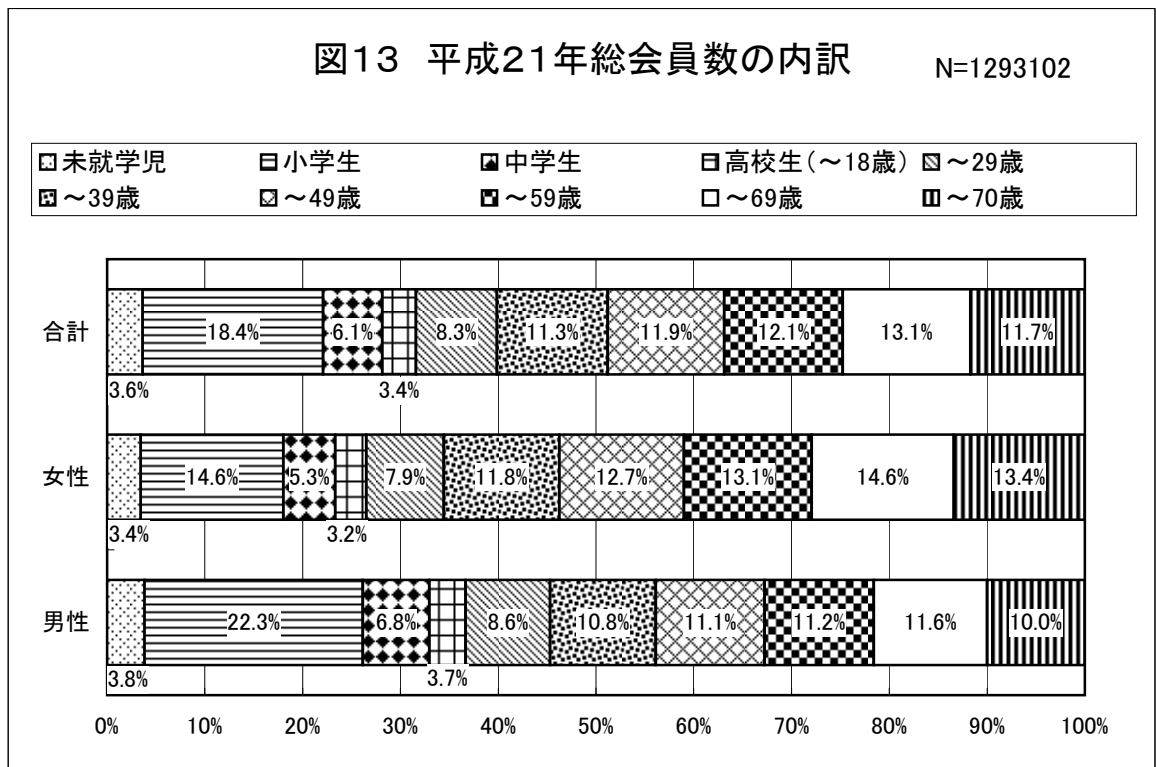
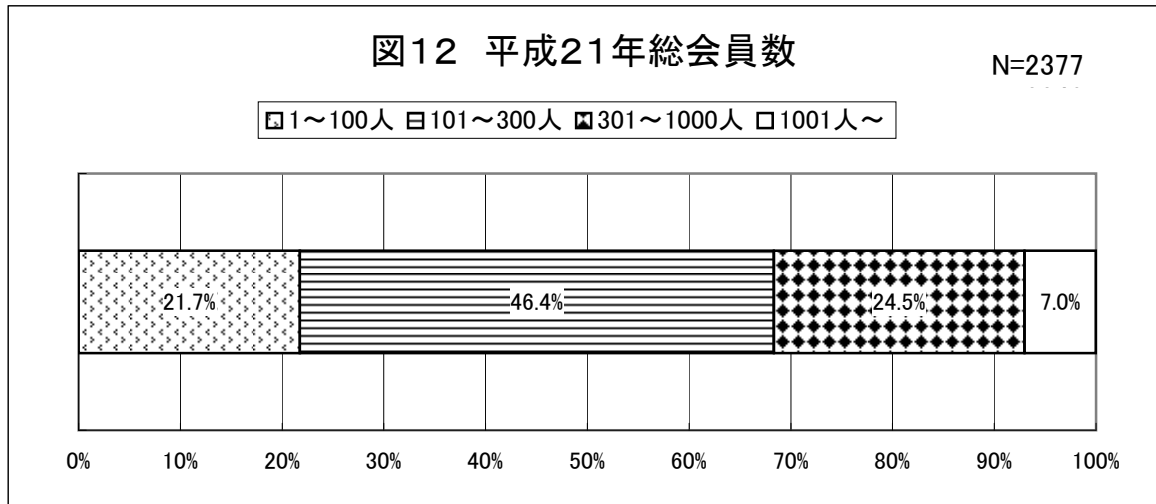
N=10219(複数回答)



### (3) クラブ会員

クラブの会員規模は、「101～300人」が46.4%、「301～1,000人」が24.5%、「100人以下」が21.7%となっている。

また、その内訳をみると、小学生が18.4%と最も多く、続いて「60歳代」が13.1%、「50歳代」が12.1%、「40歳代」が11.9%となっている。

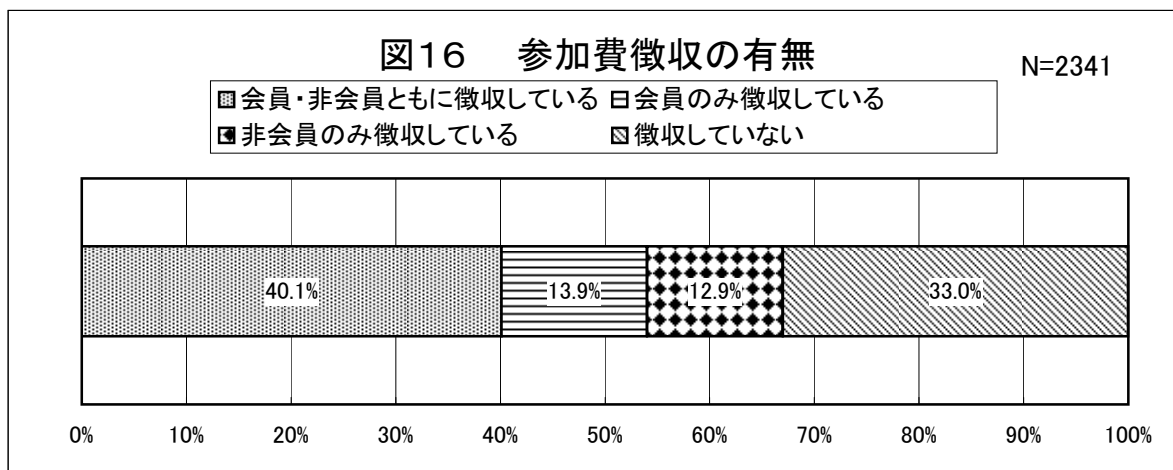
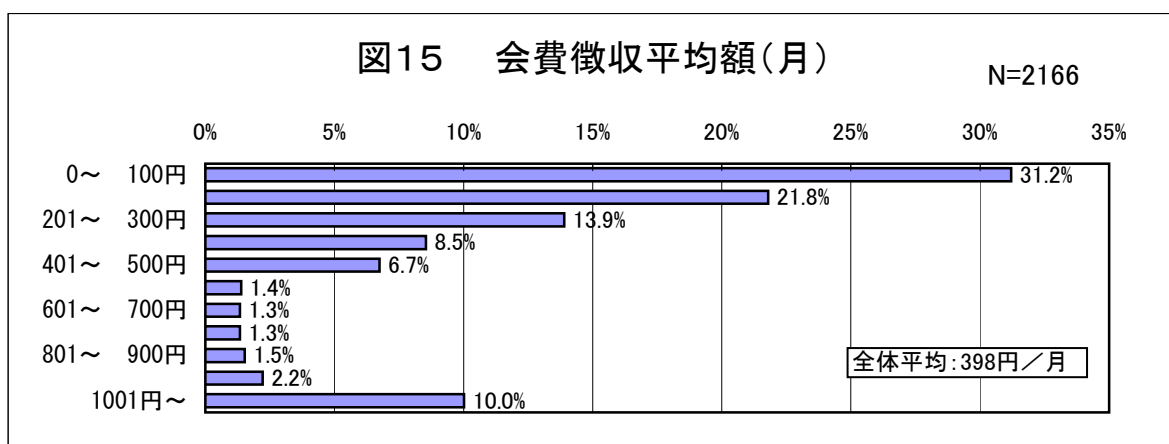
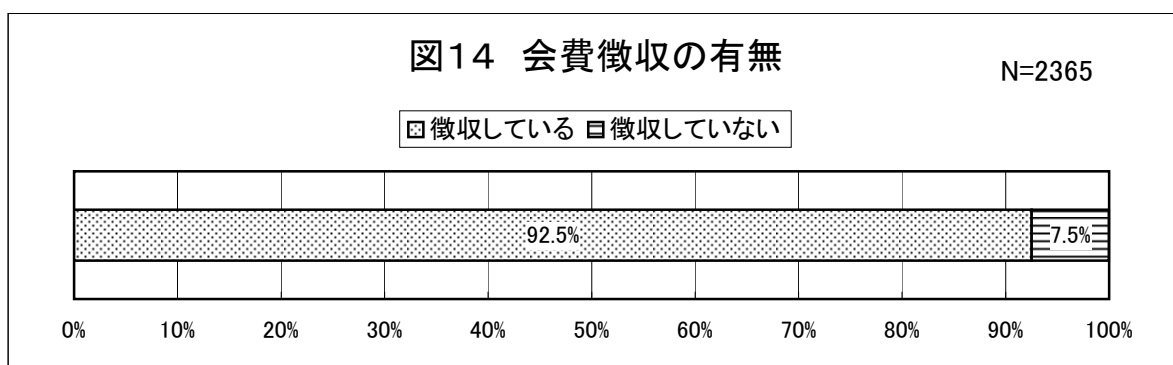


#### (4) クラブ会費

クラブの会費徴収は、「徴収している」が92.5% (H20は93.0%) であり、徴収しているクラブの会費平均額は398円/月 (H20は349円) となっている。

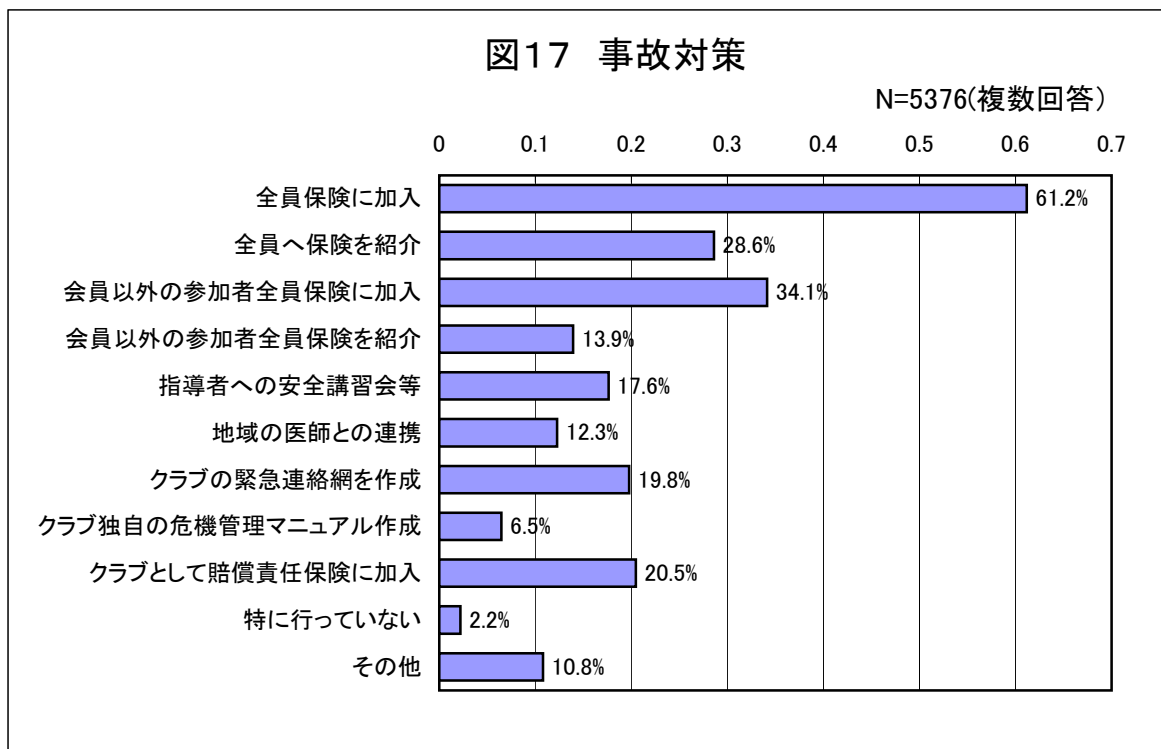
また、徴収額別にみると、「100円/月」以下が31.2% (H20は32.6%)、「101～200円/月」が21.8% (H20は22.2%)、「201～300円/月」が13.9% (H20は13.8%) となっており、66.9% (H20は68.6%) のクラブが「300円/月」以下の会費を徴収している。「1,001円/月」以上の会費を徴収しているクラブは10.0% (H20は9.1%) である。

会費以外の参加費 (スクールや教室への参加費) の徴収については、「会員・非会員ともに徴収している」が40.1%で最も多く、続いて「徴収していない」が33.0%となっている。



## (5) クラブの事故対策

クラブの事故対策は、「全員保険に加入」が61.2%（H20は63.2%）と最も多く、続いて「会員以外の参加者全員保険に加入」が34.1%（H20は33.5%）、「全員へ保険を紹介」が28.6%（H20は27.4%）、「クラブとして賠償責任保険に加入」が20.5%（H20は17.9%）、「クラブの緊急連絡網を作成」が19.8%（H20は18.7%）などとなっている。



## (6) クラブの活動内容

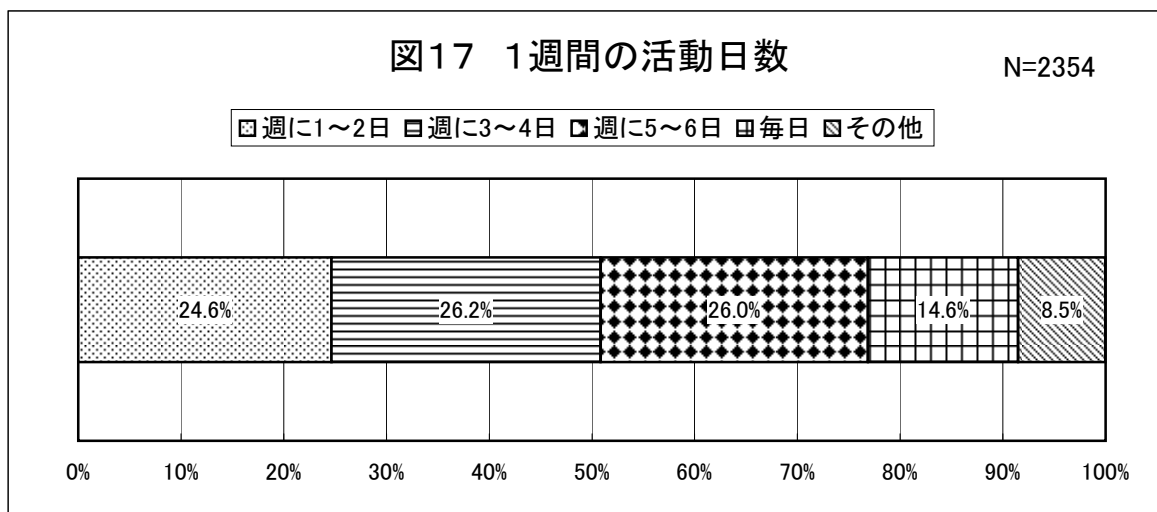
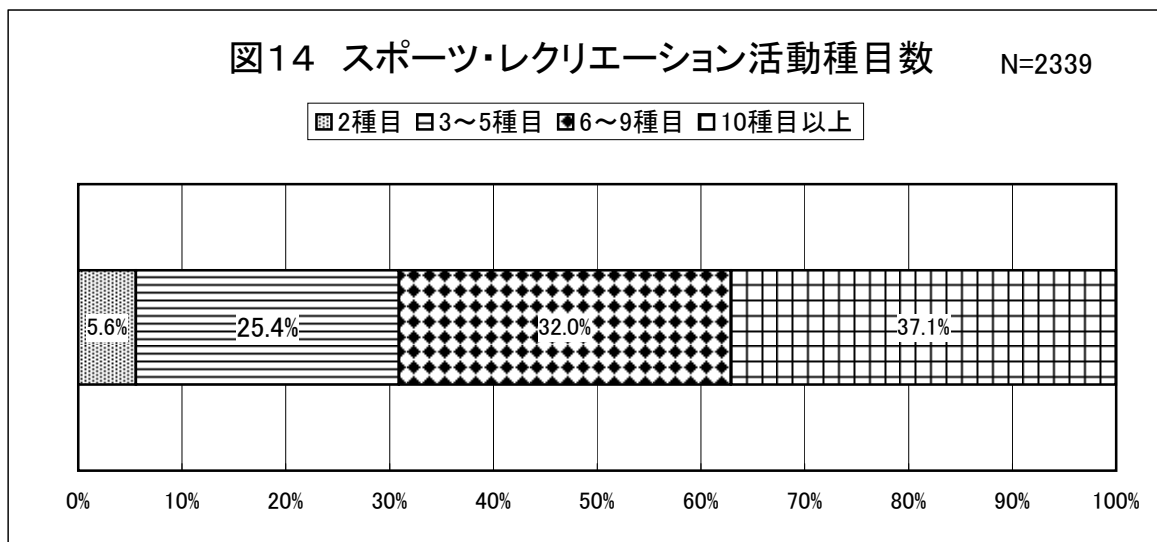
クラブの活動種目は、「10種目以上」が37.1%と最も多く、続いて「6～9種目」が32.0%、「3～5種目」が25.4%となっており、69.1%（H20は70.6%）のクラブが6種目以上の活動を行っている。

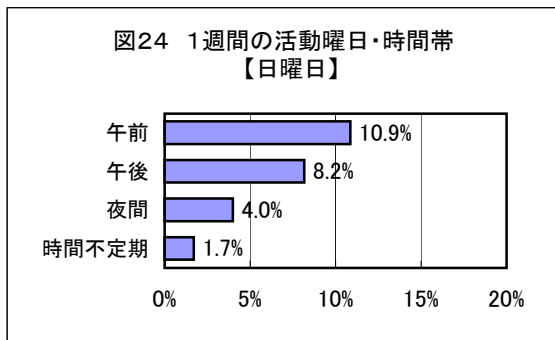
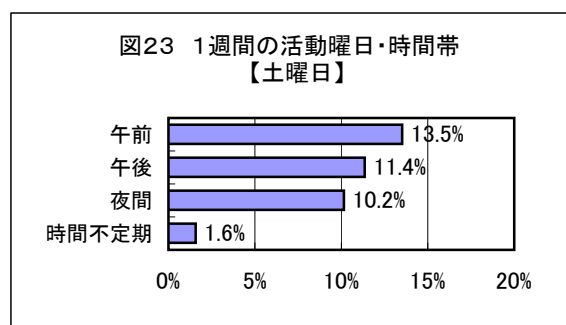
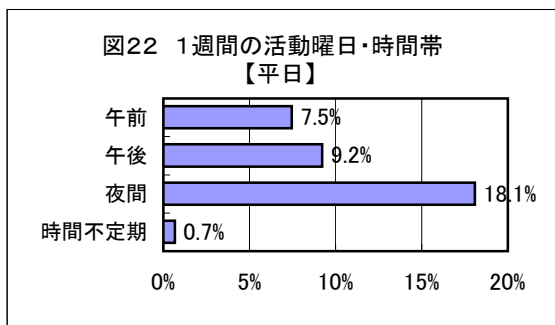
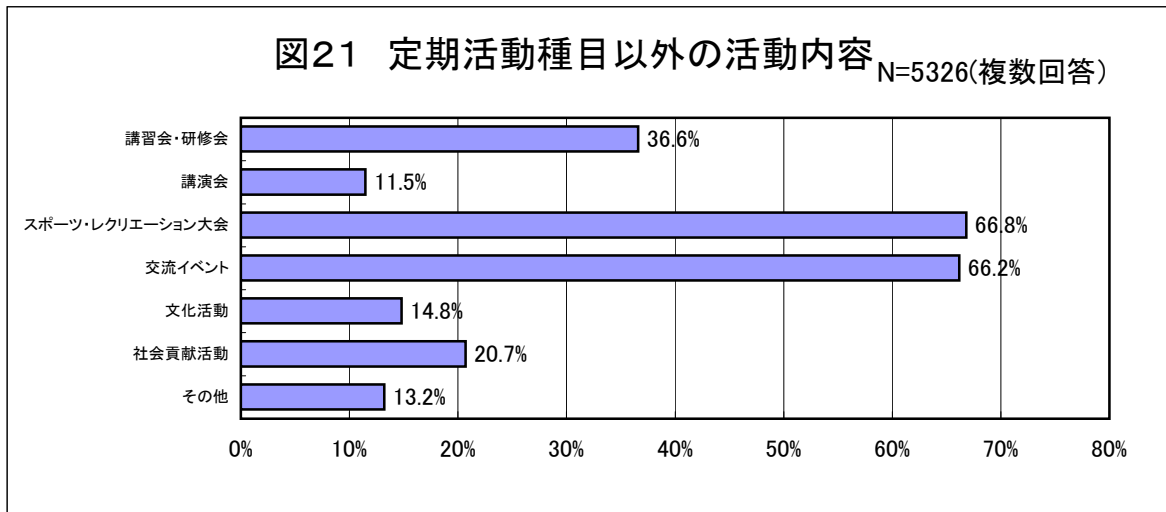
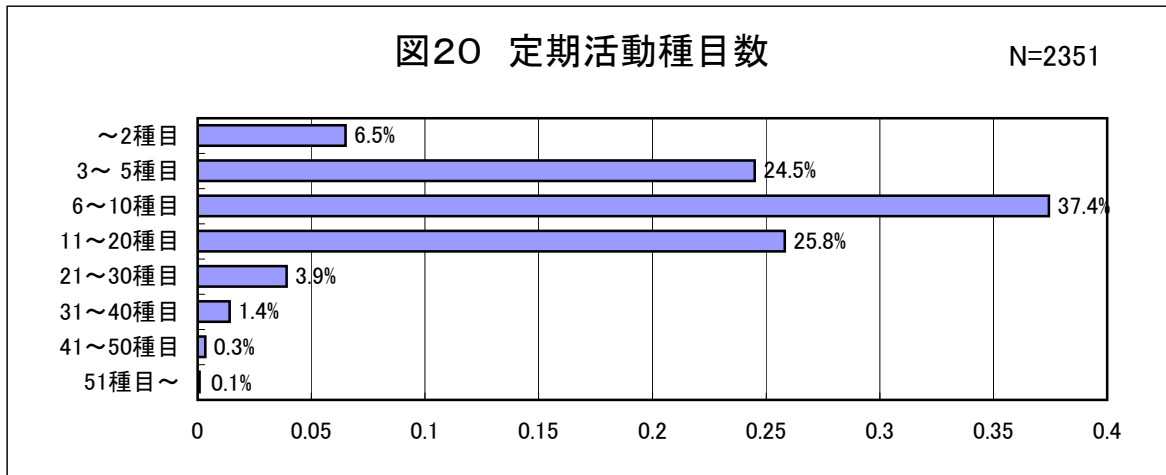
1週間の活動日数は、「週に3～4日」が26.2%（H20は27.8%）と最も多く、続いて「週に5～6日」が26.0%（H20は24.8%）、「週に1～2日」が24.6%（H20は25.4%）、「毎日」が14.6%（H20は13.3%）となっており、66.8%（H20は65.9%）のクラブは3日以上活動をしている。

定期的に活動している種目数は、「6～10種目以上」が最も多く37.4%、続いて「11～20種目」が25.8%、「3～5種目」が24.5%となっている。

通常の活動種目以外に行っているものとしては、スポーツ・レクリエーション大会が66.8%、交流イベントが66.2%と多く、続いて講習会・研修会が36.6%となっている。

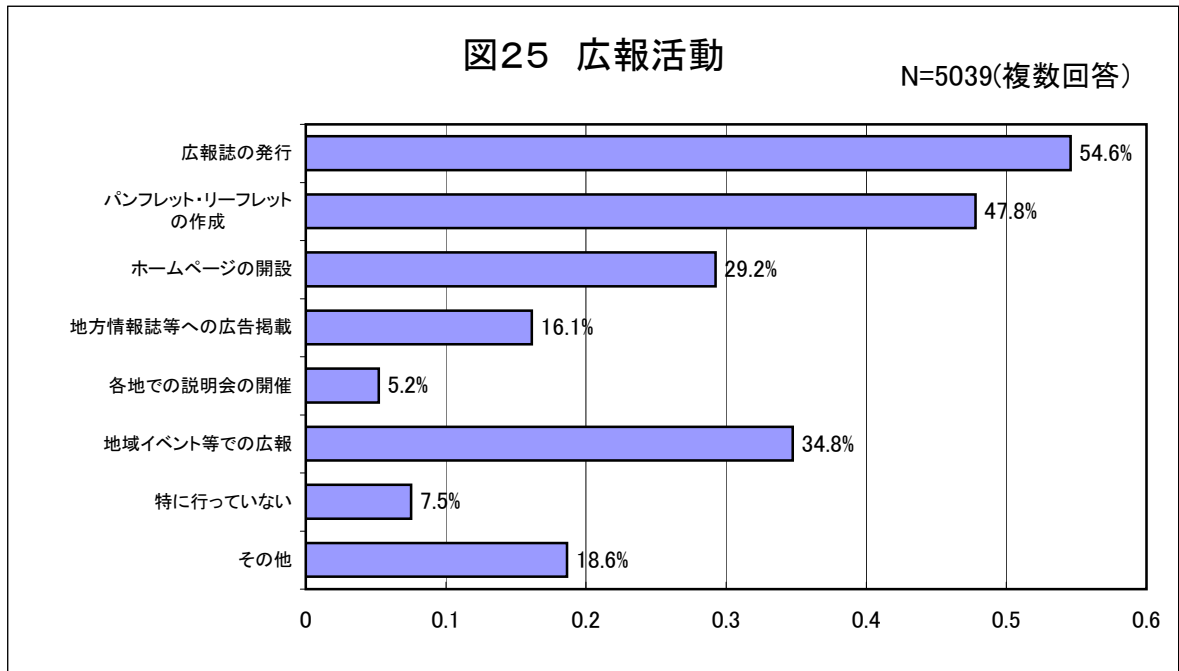
活動時間帯については、平日は夜間（18.1%）、土曜日・日曜日は午前中（それぞれ13.5%、10.9%）が多くなっている。





## (7) クラブの広報活動

クラブの広報活動は、「広報誌の発行」が54.6%、「パンフレット・リーフレットの作成」が47.8%、「地域イベント等での広報」が34.8%、「ホームページの開設」が29.2%などとなっている。



## (8) クラブ所属のスポーツ指導者

スポーツ指導者は、1クラブに平均23人（H20は23人）が所属しており、そのうち「有資格者」は36.9%（H20は34.3%）、「資格を持たない指導者」は63.1%（H20は65.7%）となっている。

また、手当が支給されているスポーツ指導者は、「有資格者」では47.8%（H20は43.6%）、「資格を持たない指導者」では37.3%（H20は37.5%）となっている。

手当の平均額は、「有資格者」では2,646円/回（H20は2,409円/回）、「資格を持たない指導者」では1,627円/回（H20は1,374円/回）、全体平均では2,063円/回（H20は1,770円/回）となっている。

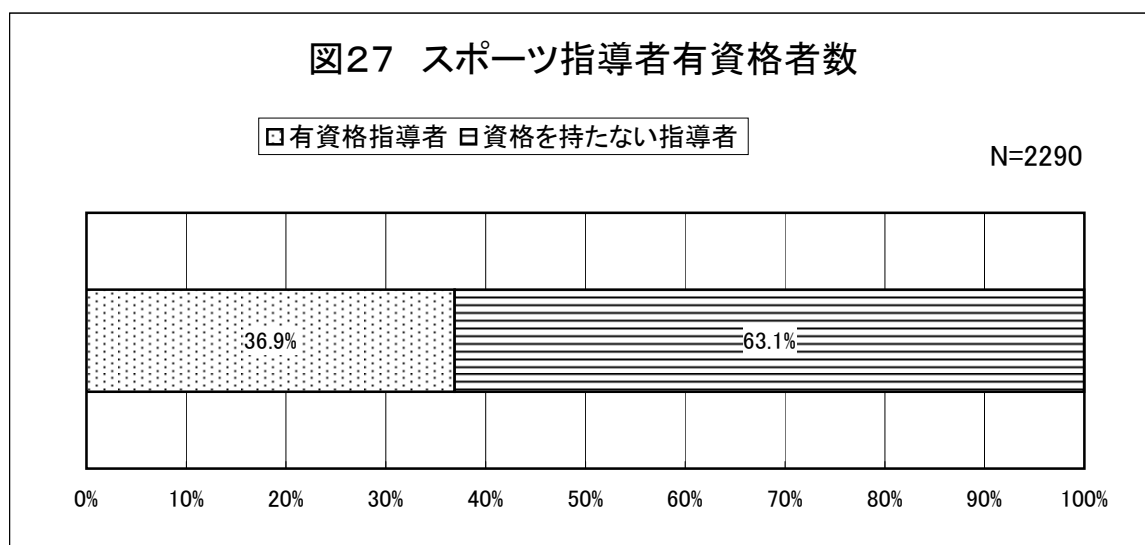
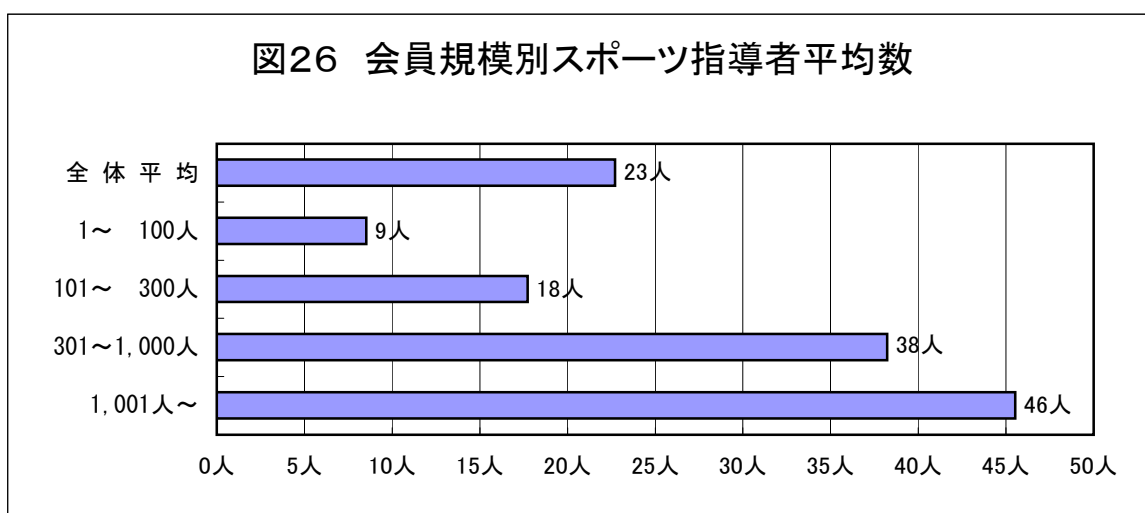




図28 スポーツ指導者の手当の有無【有資格指導者】

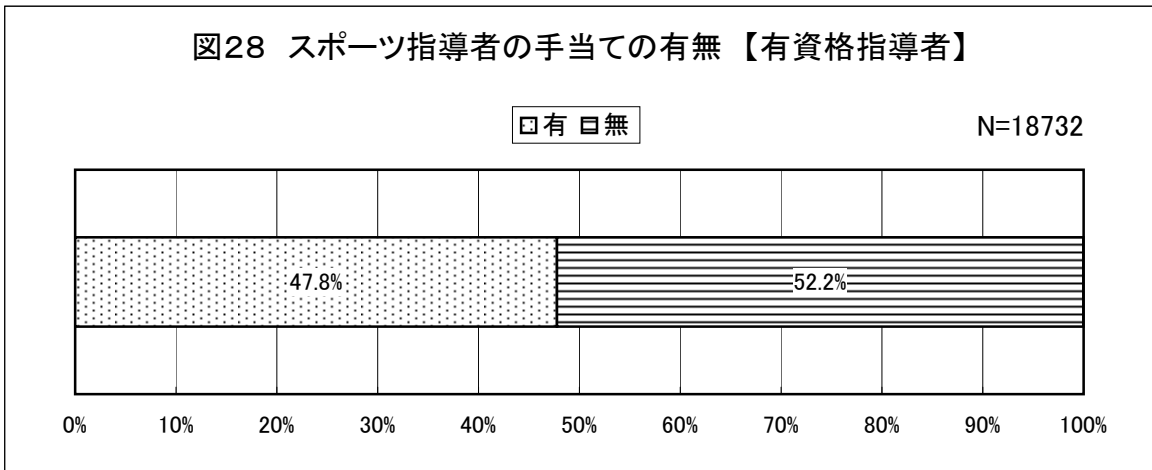


図29 スポーツ指導者の手当の有無【資格を持たない指導者】

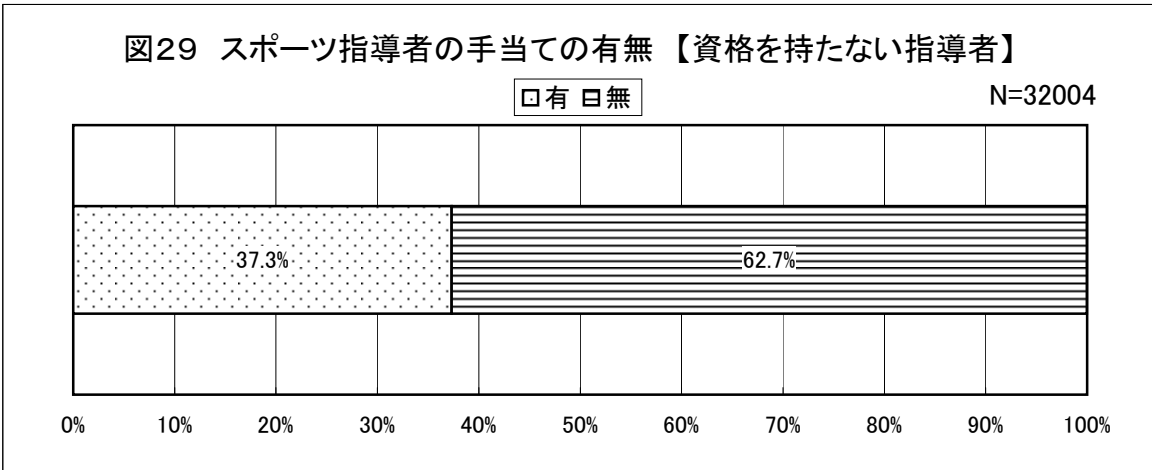
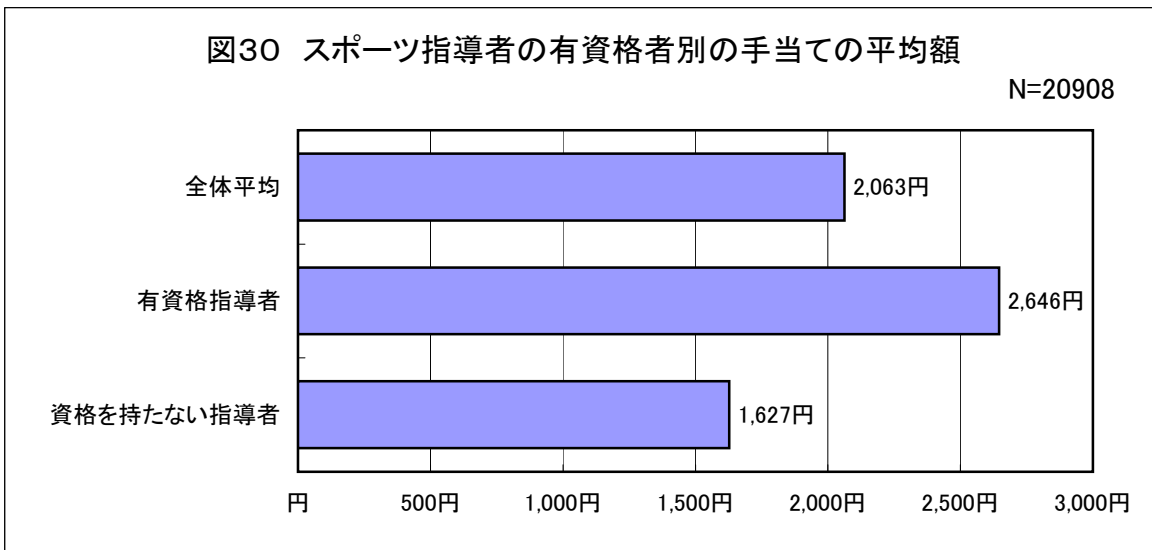


図30 スポーツ指導者の有資格者別の手当の平均額



## (9) クラブの事務局体制

### ①クラブマネジャー

クラブにおけるクラブマネジャーの配置は、「配置している」が60.0%（H20は61.4%）、「配置していない」が40.0%（H20は38.6%）となっている。

クラブマネジャーの勤務形態をみると、「常勤」が404人で18.9%（H20は16.7%）、「非常勤」が1,734人で81.1%（H20は83.3%）となっている。

手当てが支給されているクラブマネジャーは「常勤」では73.5%（H20は71.7%）、「非常勤」では20.9%（H20は16.2%）となっている。

手当ての平均額は、「常勤」では6,212円/日（H20は6,242円/日）、「非常勤」では4,123円/日（H20は3,660円/日）で、全体では5,063円/日（H20は4,865円/日）となっている。

クラブマネジャーのうち、クラブマネジャー養成講習会等を受講しているクラブマネジャーは49.4%である。

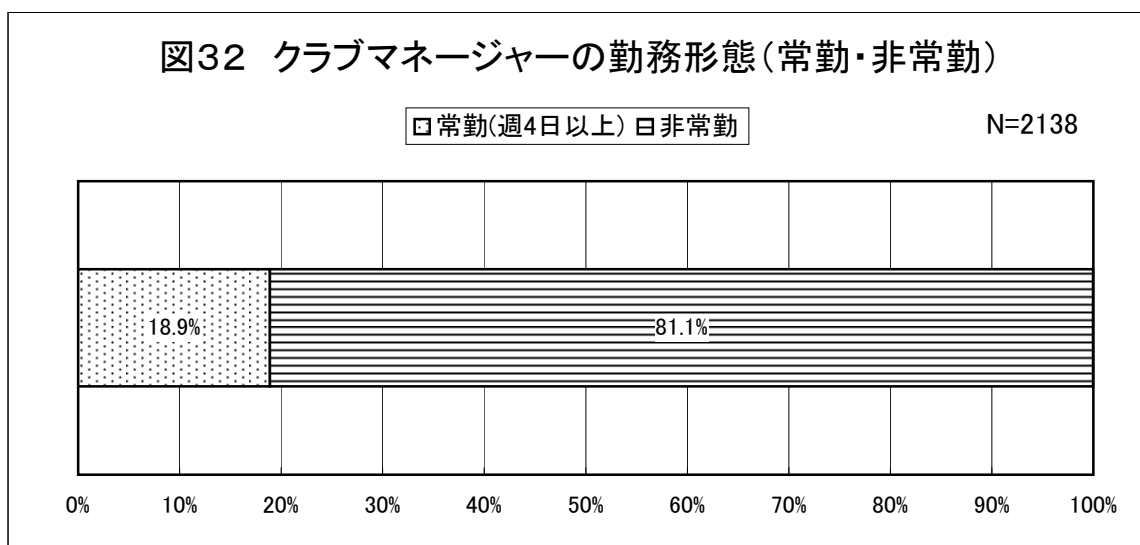
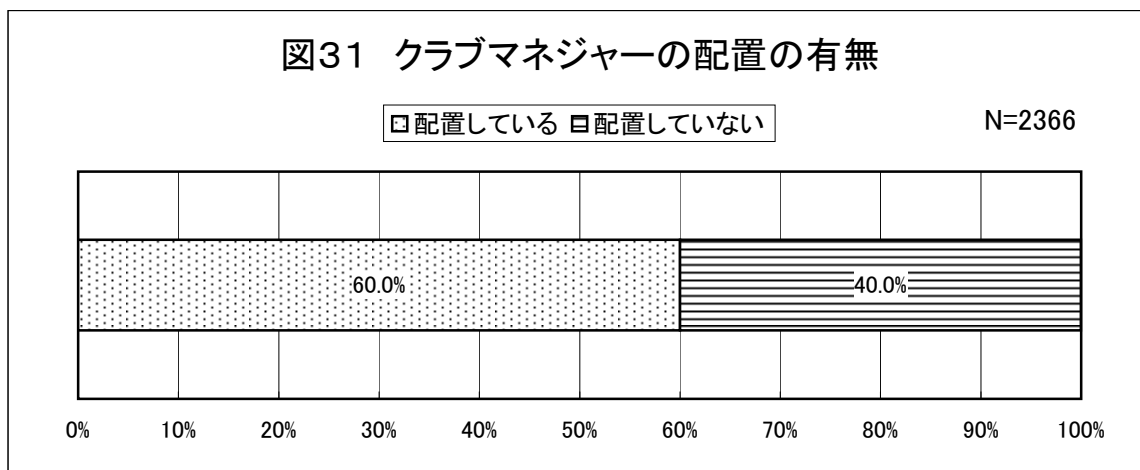


図33 クラブマネージャーの手当ての有無【常勤】

有 無

N=404

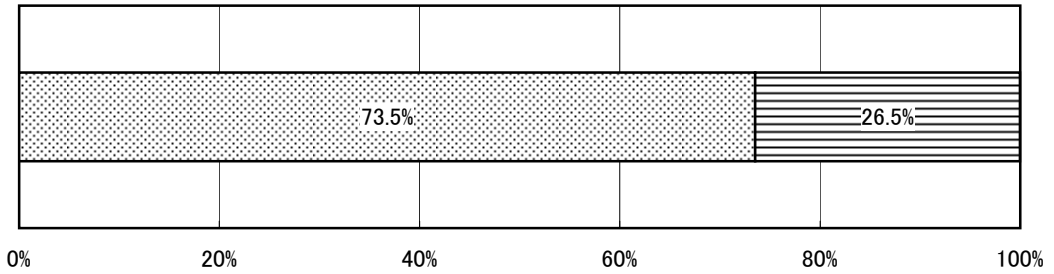


図34 クラブマネージャーの手当ての有無【非常勤】

有 無

N=1734

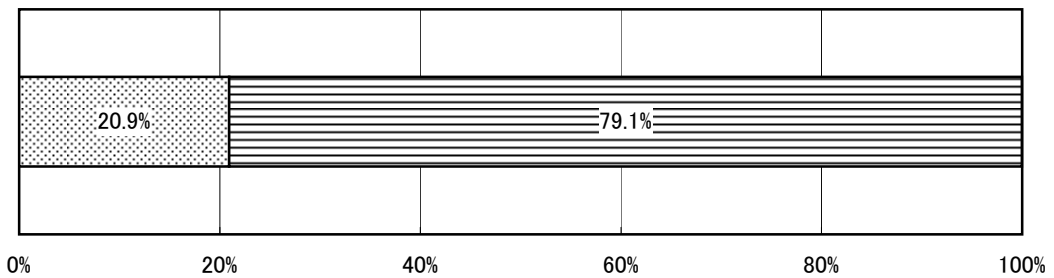


図35 クラブマネージャーの勤務形態別(常勤・非常勤)の手当の平均額

N=660

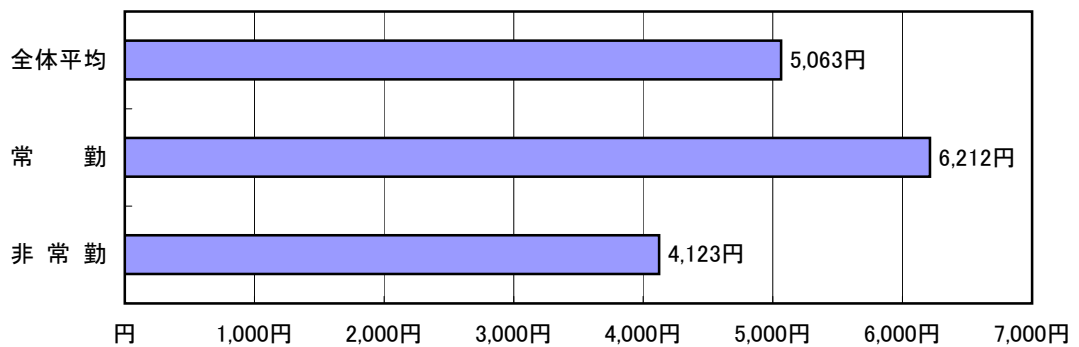
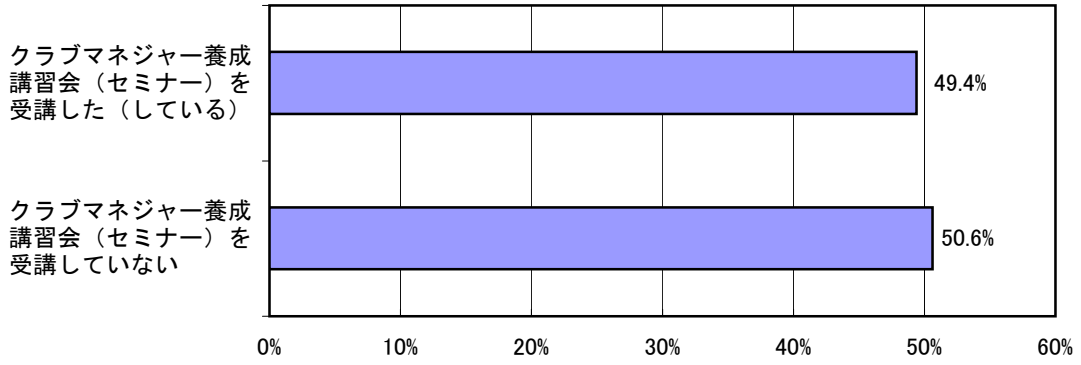


図36 クラブマネジャー講習会の受講状況

N=2045



## ②事務局員

クラブにおける事務局員の配置は、「配置している」が53.2%（H20は51.3%）、  
「配置していない」が46.8%（H20は48.7%）となっている。

クラブに配置されている事務局員の勤務形態をみると、「常勤」が25.9%（H20は  
24.2%）、「非常勤」が74.1%（H20は75.8%）となっており、手当てが支給されて  
いる事務局員は、常勤では61.2%（H20は64.0%）、「非常勤」では35.8%（H20は  
37.0%）となっている。

手当ての平均額は、「常勤」では5,561円／日（H20は5,656円／日）、「非常勤」  
では2,983円／日（H20は2,815円／日）で、全体の平均としては3,947円／日（H20は  
3,845円／日）となっている。

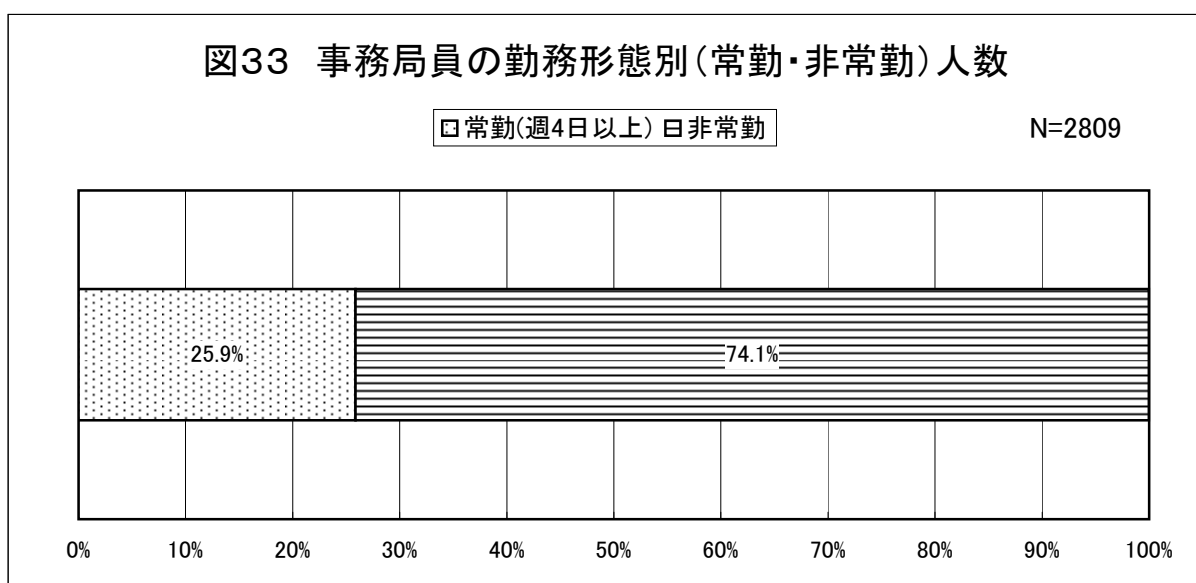
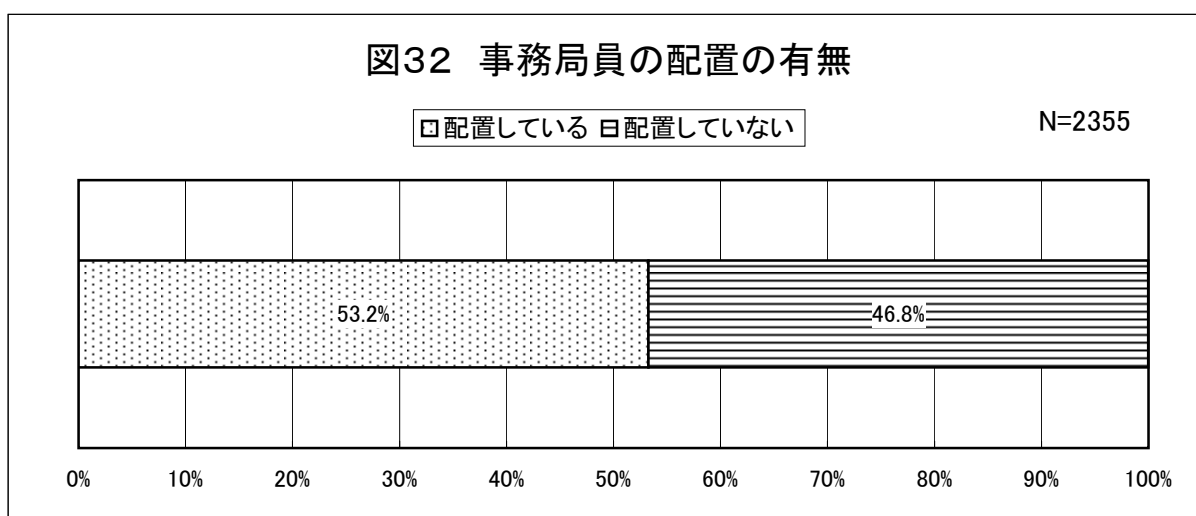


図39 事務局員の手当の有無【常勤】

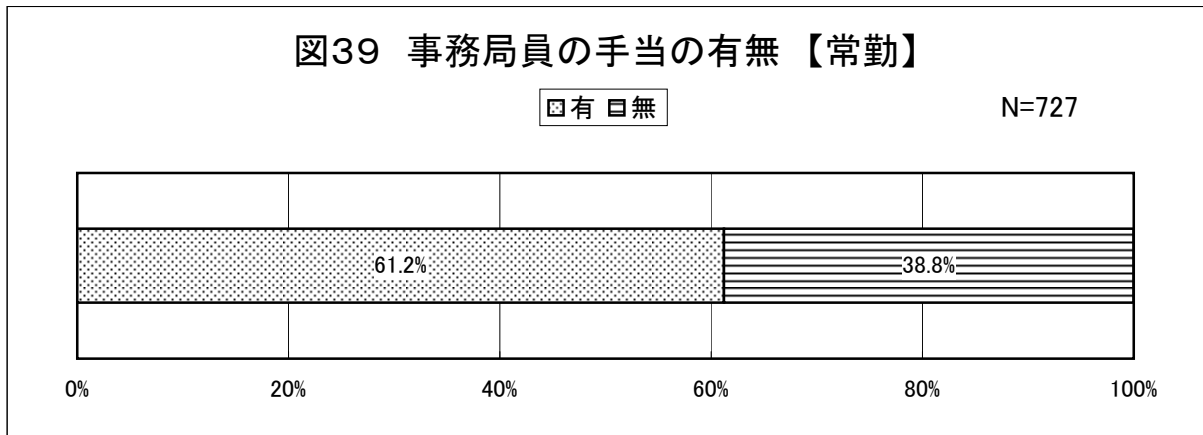


図40 事務局員の手当の有無【非常勤】

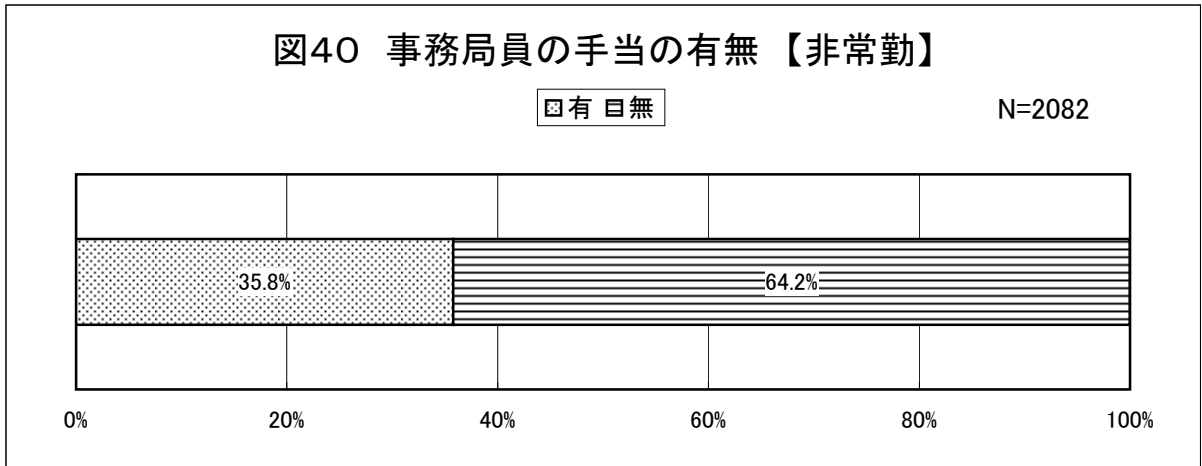
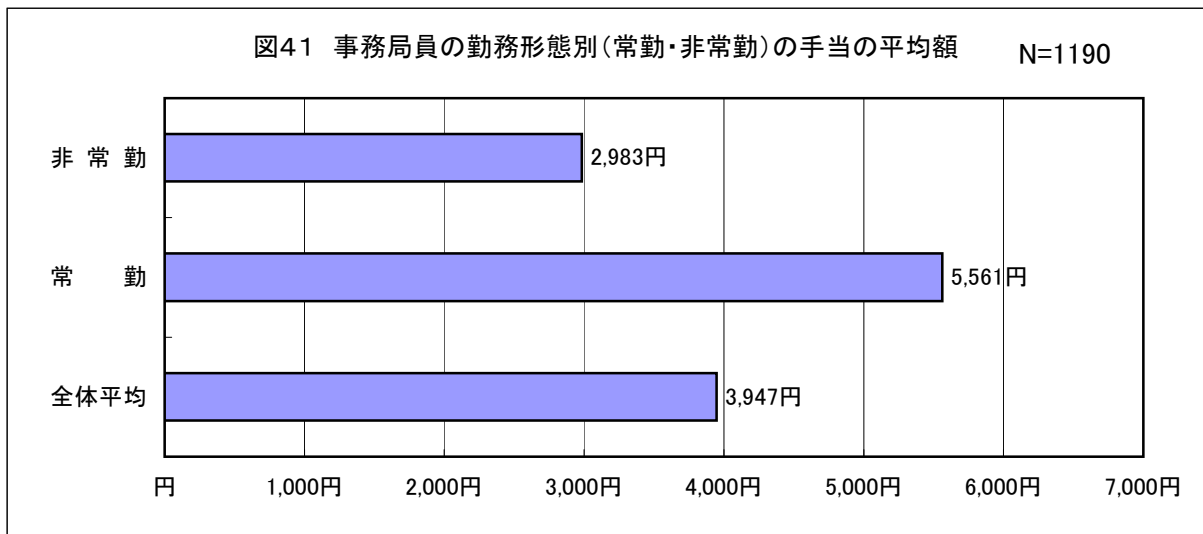


図41 事務局員の勤務形態別(常勤・非常勤)の手当の平均額



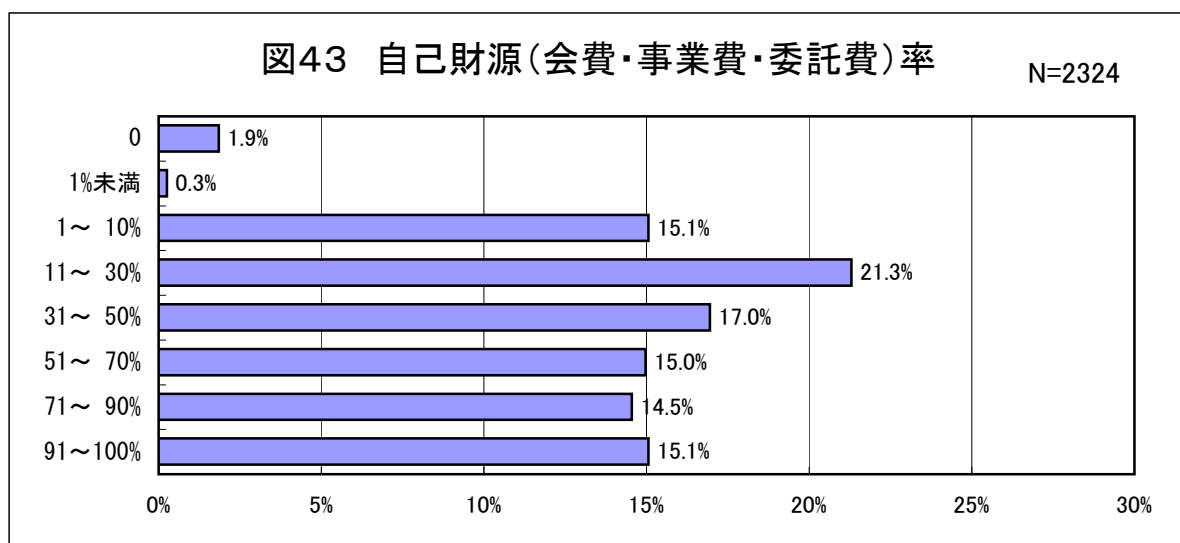
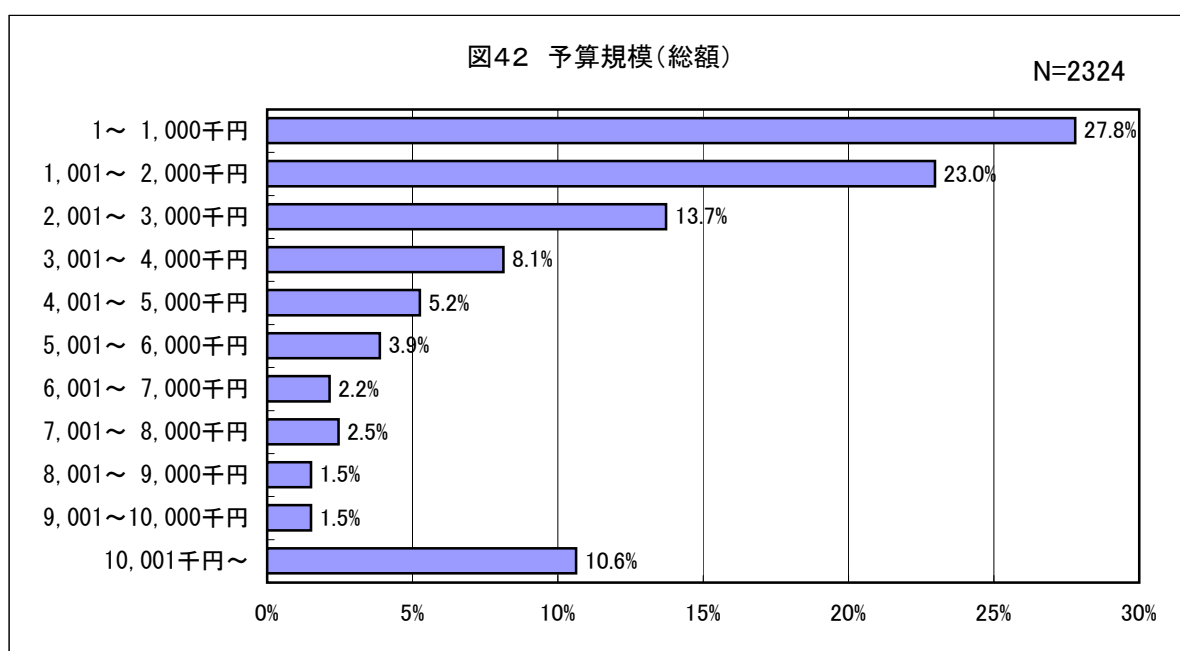
## (10) クラブの活動費

クラブの年間予算は、「100万円以下」が27.8%（H20は27.5%）と最も多く、続いて「101万～200万」が23.0%（H20は26.4%）、「201～300万円」が13.7%（H20は13.6%）となっており、全体の64.5%（H20は67.5%）が300万円以下となっている。

また、自己財源率をみると、「11～30%」が21.3%（H20は17.6%）と最も多く、続いて「31～50%」が17.0%（H20は16.5%）、「91～100%」が15.1%（H20は16.7%）となっている。

全体の55.6%（H20は53.4%）が「50%以下」となっている。

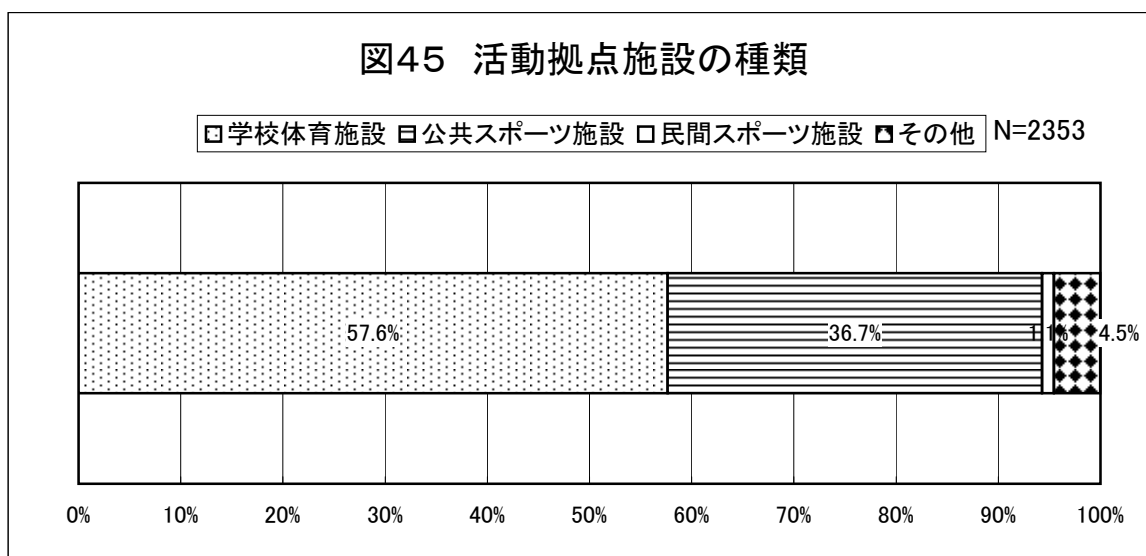
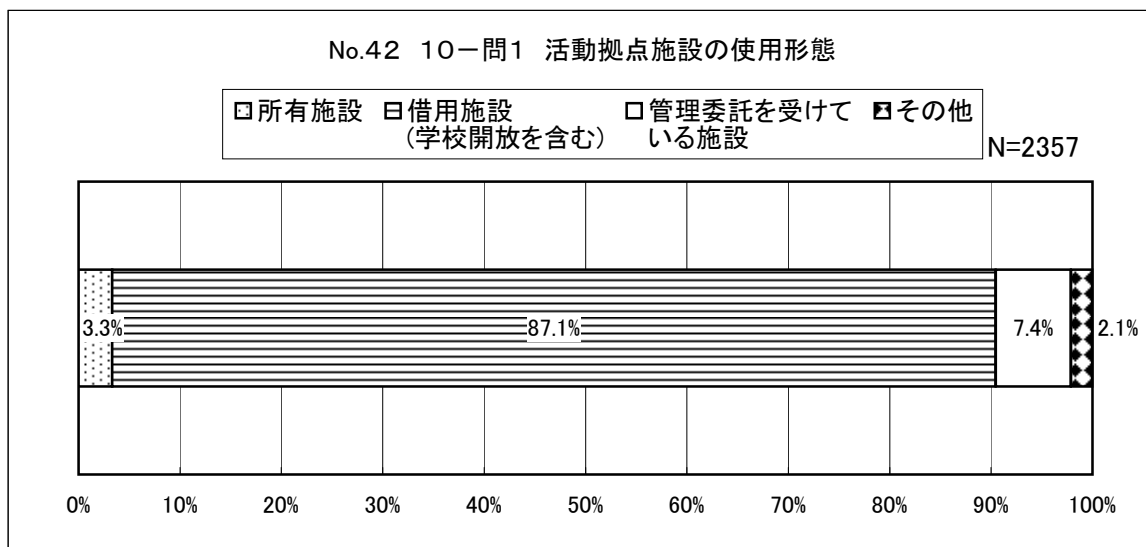
※「自己財源率」とは、自己財源を「会費・事業費・委託費」とし、これらが全体収入に占める割合をいう。



## (11) クラブの活動拠点施設

クラブの活動拠点施設の使用形態は、「借用施設」が87.1%（H20は87.3%）で最も多く、「管理委託を受けている施設」が7.4%（H20は7.0%）、「所有施設」が3.3%（H20は3.4%）となっている。

活動拠点施設の種類は、「学校体育施設」が57.6%（H20は60.1%）、「公共スポーツ施設」が36.7%（H20は34.3%）、「民間スポーツ施設」が1.1%（H20は1.3%）などとなっている。

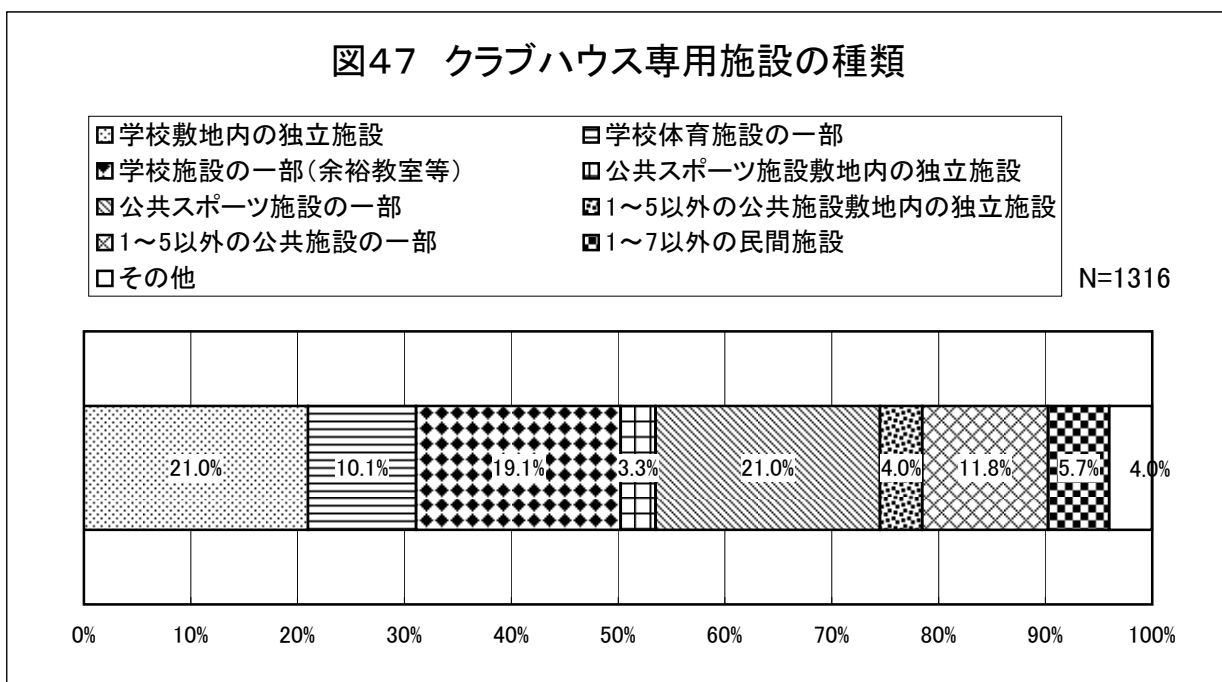
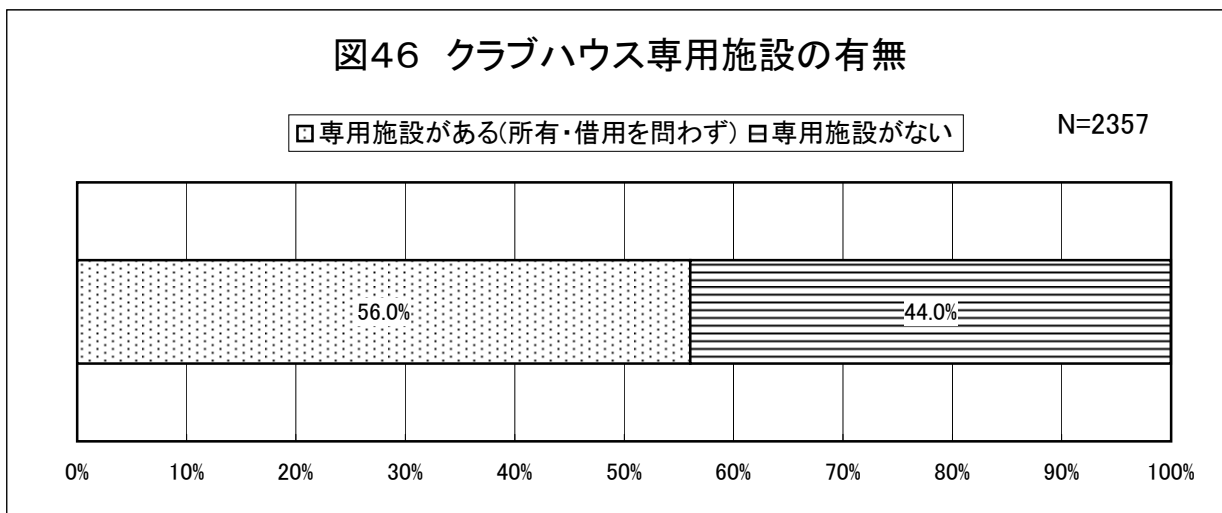




## (12) クラブハウス

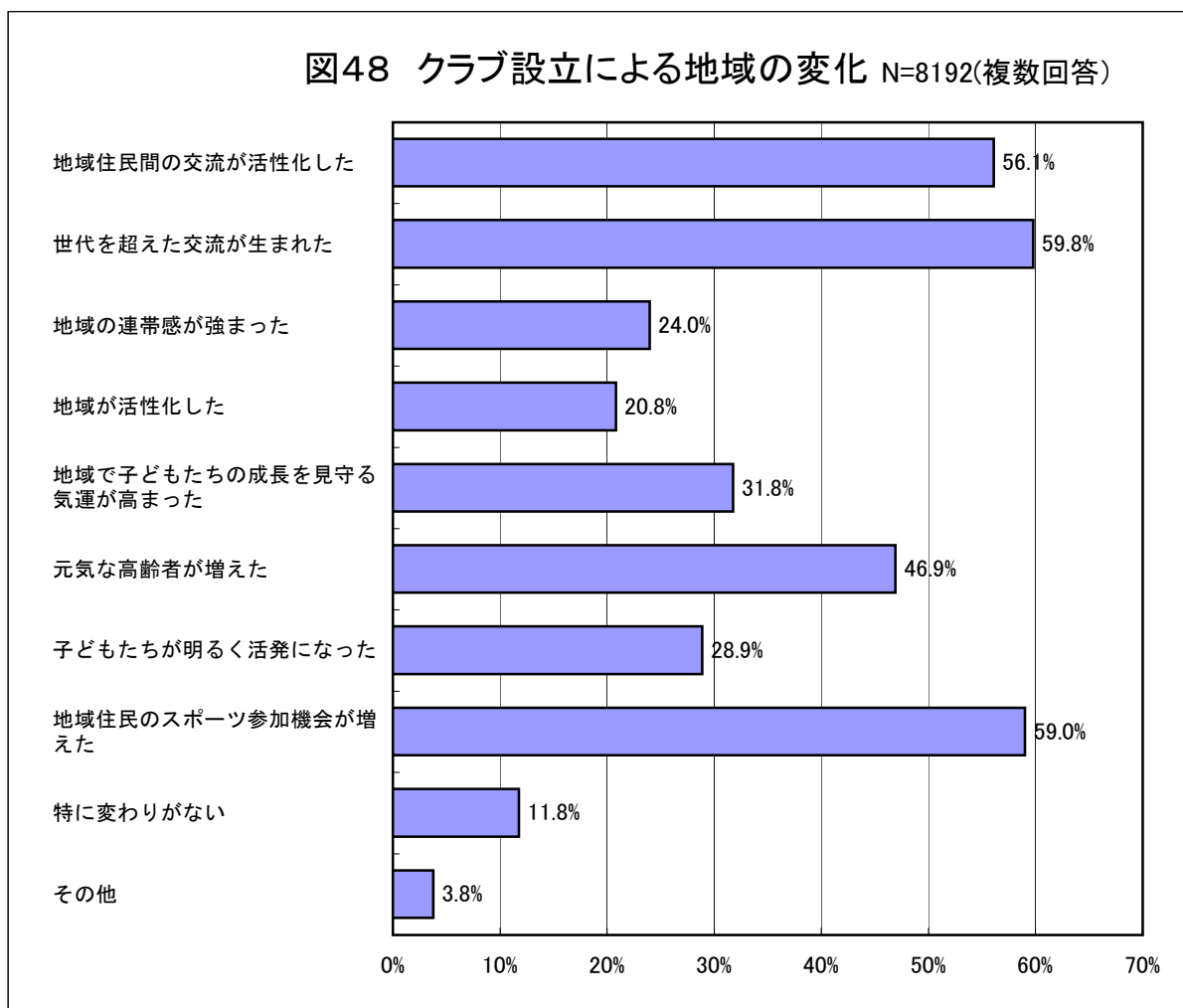
クラブハウスの確保については、「専用施設がある」が56.0%（H20は56.4%）、  
「専用施設がない」が44.0%（H20は43.6%）となっている。

クラブハウスの種類は、「学校敷地内の独立施設」、「公共スポーツ施設の一部」  
がともに21.0%（H20はそれぞれ26.9%、25.5%）、「学校施設の一部」が19.1%  
（H20は25.5%）などとなっている。



### (13) クラブ設立の効果

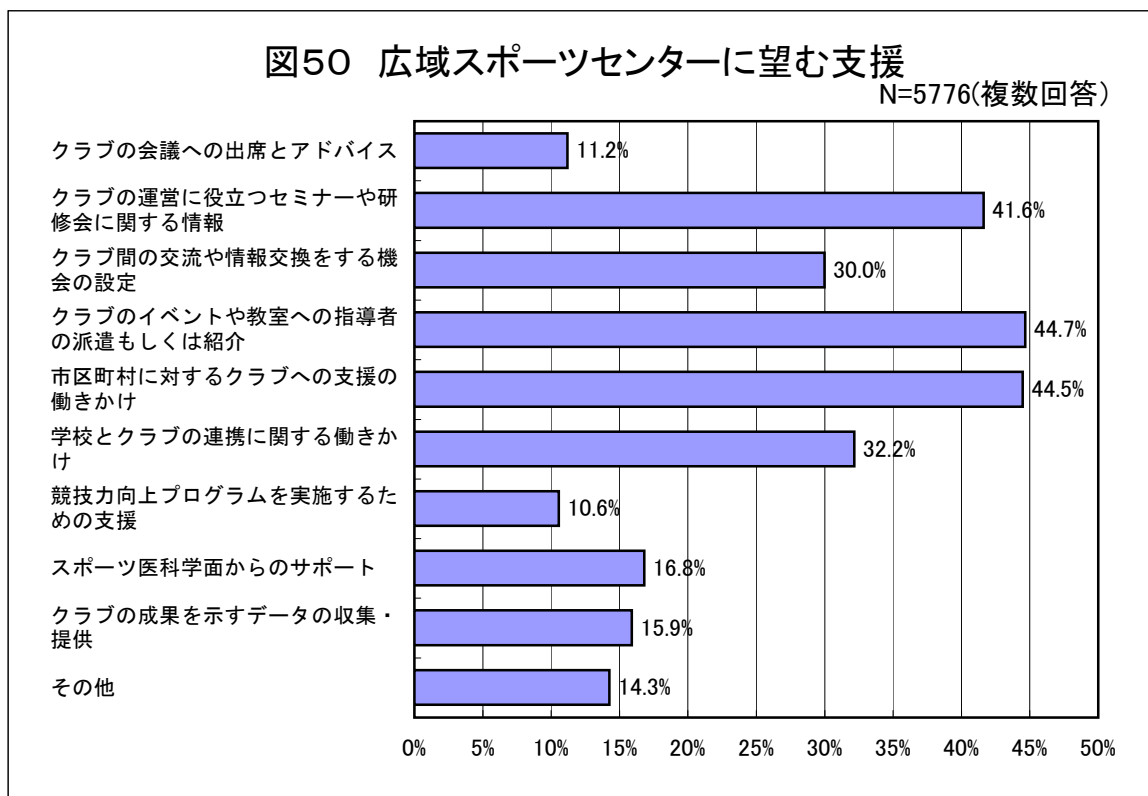
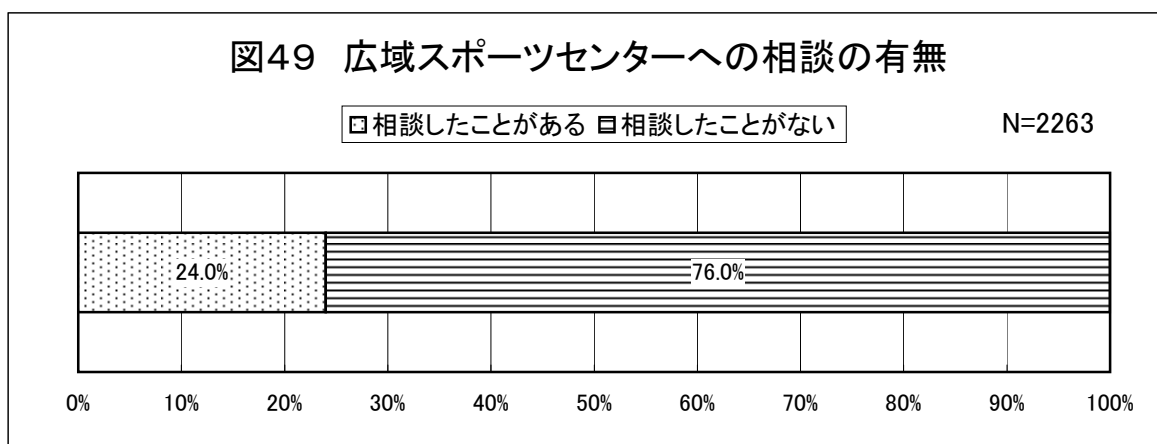
クラブ設立による地域の変化は、「世代を超えた交流が生まれた」が59.8%、「地域住民のスポーツ参加機会が増えた」が59.0%、「地域住民間の交流が活性化した」が56.1%、「元気な高齢者が増えた」が46.9%、「地域で子どもたちを見守る気運が高まった」が31.8%などとなっている。



#### (14) 広域スポーツセンターとの関わり

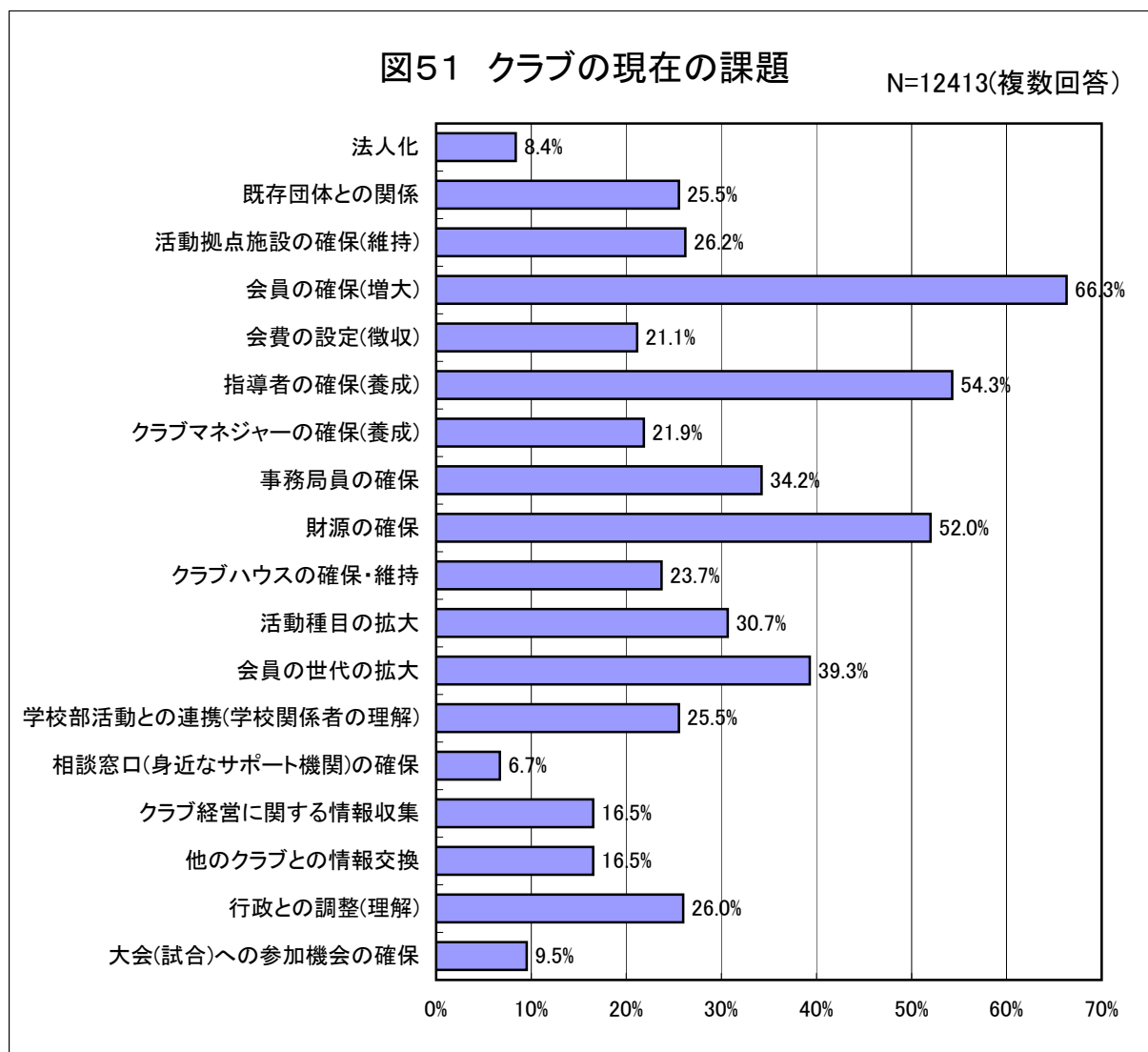
この1年間に広域スポーツセンターに相談したことがあるかについては、「相談したことがある」が24.0%（H20は23.4%）、「相談したことがない」が76.0%（H20は76.6%）となっている。

また、広域スポーツセンターに望む支援としては、「クラブのイベントや教室への指導者の派遣もしくは紹介」が44.7%（H20は41.6%）と最も多く、続いて「市町村（行政）に対するクラブへの支援の働きかけ」が44.5%（H20は41.2%）、「クラブの運営に役立つセミナーや研修会に関する情報提供」が41.6%（H20は38.4%）、「学校とクラブの連携に関する働きかけ」が32.2%、「クラブ間の交流や情報交換の機会の設定」が30.0%（H20はともに28.8%）などとなっている。



## (15) 現在の課題

クラブの現在の課題は、「会員の確保(増大)」が66.3%(H20は66.8%)、「指導者の確保(養成)」が54.3%(H20は52.9%)、「財源の確保」が52.0%(H20は51.6%)、「会員の世代の拡大」が39.3%(H20は41.0%)などとなっている。



平成21年度  
総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果  
概 要

平成22年2月  
文部科学省 スポーツ・青少年局  
生涯スポーツ課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

T E L 03-6734-2686

F A X 03-6734-3792

担当 猪股 康博

国府谷敏彦